

令和元年度 学校自己評価表 安芸太田町立上殿小学校

教育目標		豊かな人間性と 将来をたくましく生きぬく児童の育成								
教育理念		自らの伸びが実感できる活力ある学校の創造 ○ 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る。 ○ 友だちや地域の方との交流や体験活動を通し、豊かな感性を育てる。 ○ 信頼される学校づくりをすすめる。								
中期経営目標	短期経営目標	担当	目標達成のための方策	評価指標	資料	3学期達成状況	3学期 最終コメント			
確かな学力の育成	学ぶ意欲や学び合う態度を身につけさせ、よりよく問題解決ができる子どもを育てる。	基礎基本の力をつける	教務	自分の考えを伝え合う活動を取り入れた課題発見解決学習をすすめる。	意欲的に学習に取り組んでいる児童の割合 (I-check等の質問紙) 80%以上。	授業観察 I-check等の質問紙	2	授業では、互いに聞き合い、教え合う姿が現われている。課題発見解決学習を進めることで、学び合いの仕方が分かるようになってきていると思われる。第2回I-checkでも、学習に対する意欲についての質問項目では肯定的回答88%だった。3学期末児童アンケートによると、「友達の意見を聞いてなるほど、すごいと思ったことがある」84%だった。「自分とは違う考えを受け入れることが楽しい」「いろんな意見が聞けてうれしい」と記述していることから、考えを伝え合う活動を取り入れた結果、友達の意見を受け止めることにより自分の考えを深める意欲につながっているといえる。一方、児童アンケート「自分の考えを友達に伝えることは好きです」では、肯定的回答が56%にとどまった。1年間通して7割以下という結果から、来年度も、課題発見解決学習を取り入れ、自分の考えを伝えることに価値を見出すことができるようにしていく。		
				教科等の特質に応じた見方、考え方を習得する授業改善を進める。	国語・算数の学期末テスト全国平均以上の児童の割合70%以上。		単元テスト 家庭学習点検表		3	学期末テスト全国平均以上の児童の割合は、国語74%、算数70%だった。個別の補充や週一タイムを行い、学力の向上を図った。放課後などの個別補充学習を継続した。数学的な考え方を身に付けるために、算数用語を用いて説明するようにさせた。今後は、語彙力の向上を図るために、読書活動や辞書を活用することを充実させる。数学的な考え方を身に付けるために、算数用語を用いて説明することを続ける。
				帯タイムや補充学習・家庭学習における基礎基本の力をつける取組を継続し、学力の向上を図る。						
豊かな心	心豊かな子どもを育てる。	自己有用感が持てる児童を育成する。	生活安全	日常生活の中で、互いに「かかわり 認め合う つながる児童」の姿をめざす。	自分から進んであいさつをしたり、友達同士であいさつし合えたりする。	保護者、児童アンケート 日常観察	3	あいさつに関して、保護者アンケートの結果、84%が肯定的評価をしているが、2学期から12ポイント下がった。児童アンケートでも同様に、地域の人へのあいさつに対する肯定的評価が100%が84%に下がった。高水準ではあるが、保護者児童ともにあいさつに対する意識の低下は課題として考えられる。日頃の声掛けや道徳教育等であいさつの意識を高めていく。		
				ルールや決め事を守り、自己決定の場を与える。児童会で目標達成キャンペーンを行う。	児童会が設定した月目標の達成率が昨年度より上回るようにする。また、月目標の達成のためのキャンペーンを児童会を中心に学期に1回行う。		担任による 記録および観察		3	臨時休業のため、児童会主催のキャンペーンは3学期に実施できなかった。月目標の達成率は1月が76%、2月が72%でいずれも昨年度を上回った。今後も児童会を中心に自分たちでルールや決め事を守るようにしていく。
				努力目標を設定し、目標達成を目指した意欲的な生活を送る。	上小版目標達成「アクションプラン」において、スモールステップを積み重ねていく。そのために生活目標・各行事・業間などで、時期に合わせた目標とする。目標は肯定的で評価しやすく数日で達成できるものとする。目標の達成率が昨年度より上回るようにする。				記録及び観察	
健やかな身体の育成	たくましい体を持った子どもを育てる。	体力の向上を図る	生活安全	業間運動の充実や体育科授業改善を図る。外遊びの奨励を行う。	1学期 一輪車カードの達成率を70%達成する。 2学期 体カテストの県平均を下回った種目1つに重点を置いて取り組み、前回記録を上回った児童を80%以上にする。 3学期 体カテストの県平均を下回った種目1つに重点を置いて取り組み、前回記録を上回った児童を80%以上にする。	記録 授業・業間観察	4	児童アンケートによる「業間運動や外遊びを毎日がんばっている」という質問に対して肯定的回答をした児童の割合は80%だった。業間運動や休み時間になわとびに積極的に取り組むことで跳躍力を鍛えることができた。体カテストで県平均を下回った立ち幅跳びに3学期は重点を置き、記録をとった。けがの児童を除き、96%の児童が前回記録を上回った。中には20cm以上の自己記録更新者もいた。雪が例年より少なかったこともあり、外で体を動かす機会が多かった。		
					情報発信を積極的に行い信頼される学校づくりを実現する		保護者・地域の理解を深める		総務	・学校便りや学級通信・HPの更新を通して、情報提供を行う。 ・地域行事への積極的参加ならびに来校の機会を設け、互いの理解を深める。

評価基準			
4:100%達成	3:80%おおむね達成	2:60%以上達成	1:60%未満